

2012年9月12日

岩手県知事 達増 拓也 様

灯油高騰への緊急対策を求める要請書

<要請者>

団体名 岩手県生活協同組合連合会
住所 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字土沢 220-3
電話番号 019-684-2225
代表者名 会長理事 加藤 善正

団体名 岩手県消費者団体連絡協議会
住所 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字土沢 220-3
電話番号 019-684-2225
代表者名 会長 高橋 克公

団体名 いわて生活協同組合
住所 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字土沢 220-3
電話番号 019-687-1321
代表者名 理事長 飯塚 明彦

団体名 岩手県学校生活協同組合
住所 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字土沢 220-5
電話番号 019-687-2246
代表者名 理事長 豊巻 浩也

謹啓 貴職におかれましては益々ご清栄にてご活躍のこととお喜び申し上げます。
また、東日本大震災の復旧・復興に向けてのご尽力に敬意を表します。

さて、まだまだ暑いとはいえ、今冬の灯油価格や供給について、昨年以上に危機感を持っております。昨年は史上2番目に高い灯油価格になったため、ただでさえ大震災や不況で弱ってきている地域経済や家計を直撃しました。昨年度の冬期間、1ℓ 90円、18ℓ 1缶1600円を超える灯油価格が維持されたことは、異常としかいえません。現在も、すでに1バーレル110ドルを超える原油価格になっており、9月の価格は昨年を上回り2008年以来の2番目に高い価格でシーズンインしてしまう予定です。

格差や貧困がますます進む中で、県民が少しでも暖かい冬を安心して過ごせるように、せめて経済的弱者に対しては「福祉灯油」など灯油購入の支援をして弱者に優しい県政をすすめてほしいというのが私どもの願いです。

その願いが聞き入れられ、12年2月の県議会で沿岸12市町村への灯油購入補助として補正予算で2,659万円が計上されました。沿岸市町村での福祉灯油の実施は3年ぶりであり、県の対応に心から感謝申し上げます。こうした施策は、県民を励まし、被災地からは

感謝の言葉が寄せられています。

震災復興はまだまだ長い道のりです。ぜひ、今年度についても施策を後退させることなく、対象地区や対象者を広げるなど一歩でも前進させてください。また、2月3月の実施では遅すぎますので、早い段階で実施を決めるなど、県民に優しい県政をさらにすすめてくださるようお願いいたします。

また、石油元売会社の寡占化によって一方的に仕切り価格の値上げが通告される点や、需要期になると灯油価格だけが他の油種よりも高くなる点、合理化を理由にした灯油在庫の削減で消費者は常に安定供給を心配しなければならない点など、適正価格や安定供給に行政が関わらない今の石油行政は問題が多いと思います。さらにここ数年の原油高騰の原因である「投機マネー」について、規制対策が講じられず野放しであることも、私たちの家計やひいては日本経済にも大きなダメージを与えています。

つきましては、県民の生活を守るために、岩手県として以下の対策を行っていただくよう要請いたします。

謹白

記

1. 岩手県として、今年度も「被災者支援灯油」や、生活弱者支援のための「福祉灯油」など灯油購入の補助を実施し、少しでも対象地区や対象者を拡充させること。また、実施時期も早めてください。
2. 国に対して、以下の内容の働きかけを行うこと。
 - ①東日本大震災の復興のために、被災者や低所得者、経済的弱者のための灯油代購入補助や、灯油や燃料高騰に苦しむ農林漁業者や零細中小企業にむけても効果的な支援策を行うこと。
 - ②灯油高騰の要因となっている「原油への投機マネーの流入」について、日本が率先して各国と連携し、規制を行うこと。
 - ③石油製品の適正価格と安定供給のために、石油の流通に対し「行政不介入」ではなく、「行政の責任と役割を強める」よう要請すること。

以上。